

すすかけ 10月号

令和7年 10月 1日
所沢市立若狭小学校
校長 熊田 奈緒美

未来を生きる力を育む ふるさと若狭

若狭小学校の6年生

先週は6年生が修学旅行に行きました。大変素晴らしい2日間でした。修学旅行が大成功した訳は、自分さえよければいいというような行動を誰一人としてとらなかったことが挙げられます。全員が楽しめるように周りの人を意識して行動しようとしていました。その気持ちを受け取り、友達同士の笑顔が広がりました。時刻を守ったり、使った場所を美しくしたり、感謝を表したりする行動で、関わった人を幸せな気持ちにしてくれました。



友達を大切にすること、集団行動に必要なルールを守ること、感謝の気持ちをもって行動することのできる6年生を、先日の全校朝会で1年生から5年生に紹介しました。小学校生活6年間を通して成長してほしいという願いを込めています。自分たちの力でよりよい学校生活をつくりあげられるよう、それぞれの学年に応じた目標を今一度子供たちと一緒に見直し、支援していきます。

言葉とわたしたち

校長室前の廊下から、子供たちの話し声が聞こえます。

「外で鬼ごっこしよう」。友達を誘っているようです。ですが、返事が返ってきません。すると、同じ声で「〇〇ちゃんには言ってないよ」。遠ざかっていくふたつの足音。

しばし、考えます。鬼ごっこに誘った子は、相手が黙っていたので、無視されたと思ったかしら。せっかく誘ったのに、残念な気持ちだったろうな。黙っていた子は、何か訳があって、どう返事をしようか考えていたのかしら。「〇〇ちゃんには言ってないよ」と言われて、悲しかったろうな。

本当のところはわかりませんが、学校で見かけることのある出来事です。たくさんの人間で生活していますから、言葉の行き違いや誤解というのは避けられません。トラブルの時こそ、人間関係を学ぶチャンスだと思いますし、そんなときに力を発揮するのが言葉です。お互いに自分の思いを言葉にして話し合い、解決しています。子供だけで難しいときには大人が間に入って手助けをすることもあります。言葉を使ってよい人間関係をつくれるようになってほしいと願い、日々、励ましています。